

四柱推命の方法と手順

この節は、四柱推命で具体的事象を見るまでに通過しなければならぬ段階を、鳥瞰図的に述べ、読者の方々の理解の便を図ることを意図して設けたものである。

四柱推命で具体的事象を見るためには、生年月日と出生時刻、そして出生地の情報が必要であるが、それらが明らかな場合、以下の手順にしたがって、進んでいくことになる。

- ① 生年月日時を、出生地と均時差（後述）で補正する。
- ② 補正した生年月日時を元に干支暦により年月日時の干支、すなわち四柱八字を出す。
- ③ 年月日時それぞれの蔵干を明示して、月支の蔵干から旺じる五行を確認する。
- ④ 大運だいうんを出す（後述）。
- ⑤ 必要に応じ、旺を逆転する（後述）
- ⑥ 四柱八字中の隣接する干同士を生剋・幫を見て、日干の強弱を判別する。

以上の段階が終わった後、五行の視点、通変の視点から八字を見、具体的事象を推察することになる。なお、⑤の段階までは機械的な作業であるため、本書のホームページ (<http://www.shihei.com/>) で提供しているソフトウェア「四柱八字表示（準拋版）」（ウィンドウズ用）ですべて自動的に処理することができる。しかし、⑥とそれ以降の具体的事象を見るため

の作業は自動化は不可能な事柄になる。

そして、大きく分類すると、具体的事象には次の二つがある。

◇その人に生まれながらに備わっている事柄

◇出生後、家族、社会との関わりの中で発生する事柄

前者は、四柱八字のみで見、後者は、前者を考慮しつつ、四柱八字と大運・流年（後述）との関わりから見ることになる。

また、四柱推命で知ることができる具体的事象の概要を箇条書きにする
と、次のようになる。まずその人自身に関することとして、

- ① 広義な意味における気質と、それに伴う能力的な特性
- ② 気質に由来する性格面と行動パターンと、その経年変化のようす
- ③ 健康状態とその経年変化
- ④ 容姿の特徴（身長・容姿・体重等）とその経年変化のようす
- ⑤ 過保護か放任かといった育てられ方のようす
- ⑥ 食べ物の嗜好
- ⑦ 生命に関わるような病気に注意を要する時期
- ⑧ 成長期の生育環境
- ⑨ 事故、怪我等々の危険性がある時期

といったことをあげることができる。そして、これらの視点を複合的に組み合わせながら、両親との関わり、兄弟姉妹の構成とか、婚期、職業の適性、収入の変化のようすを推察することになる。

経済的な好不況は、四柱推命の関することではないが、たとえ景気が悪くても、うまく立ち回ることができるのか、あるいは、景気の悪さとともに自身の経済状況も悪化させてしまう、といったことは推察可能な事象の

範疇に入る。時には、出生時の体重が2500グラムを切っていて補育器に入る必要があったのではないかとか、難産の傾向があったのではないかといったことがわかることもある。

しかし、本人にまったく過失のないような偶発的な天災・事件・事故で負傷したり、最悪の場合、死に至ったりすることがあるが、こうした点も四柱推命の関するところではない。四柱推命は理論的に構成されているので、このような事象を説明できるものとして考えるなら、こじつけに陥ってしまい、理論的に破綻してしまうことになる。四柱推命によって解明可能な事象と、そうでないものの事象の見極めには注意が必要である。

以下略